

2021年7月30日

各 位

野村不動産ホールディングス株式会社向け 「サステナビリティ・リンク・ローン」に取り組みました！

～お客さまのSDG s 経営の高度化をTSUBASAアライアンスでサポート～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、野村不動産ホールディングス株式会社様(東京都新宿区、代表取締役社長 杓掛 英二様、以下、「同社」)向け「サステナビリティ・リンク・ローン(以下、「SLL」)」に取り組みましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、今回のSLLは、同社が制定したサステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク(以下、「SLLフレームワーク」)に基づくものであり、SLLフレームワークを活用したSLLの取組みは国内初となります。

SLLは、金利等の貸付条件と、融資先のSDG s・ESG戦略におけるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、「SPT s」)に対する評価を連動させ、その達成状況に応じて、融資先にインセンティブやディスインセンティブが発生することで、持続可能な経済活動および経済成長を促進し、継続的に支援することを目的としています。今回のSLLフレームワークは、同社のSPT s達成に向けた取組みを支援する金融機関を募る同社主導のフレームワークであり、TSUBASAアライアンス^{※1}参加行を代表し、株式会社千葉銀行様がサステナビリティ・コーディネーター^{※2}として策定支援を行い、第一弾として、TSUBASAアライアンス参加行のうち当行を含む9行が協調して融資に取り組みました。また今後、他の金融機関が同社のSLLに取り組み際の枠組みとして本SLLフレームワークを活用することにより、その輪を広げていくことが可能となります。

地銀広域連携の枠組みである「TSUBASAアライアンス」では、「TSUBASA SDG s宣言」のもと、事業活動を通じて社会・環境課題の解決に資する取組みを推進しており、本件についても、この連携の成果として実現にいたりしました。

当行は、今後も地域金融機関として、潤いと活力ある地域社会の実現に貢献するため、お客さまのESG・SDG s経営の高度化への取組みを支援してまいります。

記

○サステナビリティ・リンク・ローン概要

項 目	内 容
借 入 人	野村不動産ホールディングス株式会社
貸 出 金 融 機 関	伊予銀行、千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、群馬銀行
サステナビリティ・コーディネーター	株式会社千葉銀行
S P T s	温室効果ガス総排出量削減率目標
インセンティブ	SPT s達成状況に応じた金利スプレッド優遇
第 三 者 意 見	株式会社格付投資情報センター
融 資 総 額	110億円(TSUBASAアライアンス参加行が実行日に対応する総額)
資 金 使 途	運転資金(リファイナンスを含む)
貸 出 形 態	証書貸付

※1 伊予銀行、千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み

※2 サステナビリティ・リンク・ローン商品の組成・設計にあたって、借入人のSPT s設定等を支援する役割

以 上

○スキーム図

